

令和3年度厚生労働科学研究費補助金(循環器疾患・糖尿病等生活習慣病対策総合研究事業)
管理栄養士養成施設における管理栄養士の卒前・卒後教育の充実に向けた研究
分担研究報告書

管理栄養士養成大学における教育課程等と進路に関する検討

研究協力者	片岡 沙織	神奈川県立保健福祉大学栄養学科
研究協力者	飯田 綾香	神奈川県立保健福祉大学栄養学科
研究分担者	鈴木 志保子	神奈川県立保健福祉大学栄養学科
研究分担者	遠又 靖丈	神奈川県立保健福祉大学栄養学科
研究協力者	古畑 公	聖徳大学人間栄養学部人間栄養学科
研究代表者	中村 丁次	神奈川県立保健福祉大学

研究要旨

【背景・目的】管理栄養士の養成は、「栄養士法施行規則」や「管理栄養士学校指定規則」に定められるが、育成したい人材像や方針の違いから、各施設の養成実態には違いがあるとされている。本研究は管理栄養士養成大学における教育課程等と進路の関連を明らかにすることを目的とした。

【方法】卒業生における進路のデータは、一般社団法人全国栄養士養成施設協会が調査した「管理栄養士及び栄養士課程卒業生の就職実態調査」のうち、2017年度から2020年度のデータを二次使用した。4年間で1度でも回答している管理栄養士養成大学のデータを用い、137校を対象とした。主な調査項目は、卒業生数と卒業生の進路(管理栄養士業務、栄養士業務、免許不使用の業務、進学・未就職)、及び進路の内訳であった。厚生労働省、医歯薬研修協会、各対象大学のホームページから管理栄養士養成大学の入学定員数、管理栄養士国家試験受験者数および合格者数、カリキュラム(管理栄養士国家試験受験資格取得の卒業要件の有無、臨地実習単位数)を収集した。調査項目から定員充足率(%)=(卒業生数(人)/入学定員数(人))×100、受験者率(%)=(受験者数(人)/卒業生数(人))×100(卒業生のうち国家試験を受験した者の割合)、合格率(%)=(合格者数(人)/受験者数(人))×100を、それぞれ4年度分の累計を用いて算出した。本研究は神奈川県立保健福祉大学研究倫理審査委員会の承認を得た(保大第5-21-22)。

【結果】受験者率100%は卒業生全員が国家試験を受験したことを示すが、卒業生全員が国家試験を受験した大学が14校ある一方で、受験者率が24.7%にとどまった大学や、50~80%の大学が44校あり、管理栄養士養成大学においても受験しない学生が多く存在することが明らかとなった。管理栄養士国家試験の受験資格取得が卒業要件である大学は63校(46%)であり、卒業要件でない大学と比較し、管理栄養士業務の就職率、管理栄養士としての病院・診療所の就職率が高値を示した。管理栄養士国家試験の受験資格取得のための最低臨地実習単位数が管理栄養士学校指定規則の4単位である大学は132校(96%)、5単位以上の大学は5校(4%)であった。5単位以上の大学は臨床栄養学に関連する実習の単位数が多く、管理栄養士としての病院・診療所の就職率が高かった。さらに、5単位以上の大学は4単位の大学と比べて、管理栄養士業務の就職率が高く、栄養士業務、免許不使用の業務、進学・未就職が低い傾向であった。

【考察】管理栄養士業務の就職率が高い大学の特徴は、管理栄養士国家試験受験資格取得が卒業要件であり、最低臨地実習単位数が5単位以上の大学であることが示唆された。臨地実習単位数が多い大学は臨床栄養学関連の実習の単位数が多く、管理栄養士業務の就職率、管理栄養士としての病院・診療所の就職率が高い特徴を示したことから、関連の臨地実習のカリキュラムが充実している管理栄養士養成大学は、管理栄養士の専門性を活かした就職に結びつくと考えられる。管理栄養士の業務は診療報酬や介護報酬改定によって、より一層専門的知識や技能が必要な業務が増えてきている。今後の管理栄養士養成において、より専門的な実習を受ける機会をどのように設定し得るかについては、次年度も本研究事業において引き続き検討する必要があると考えられた。

A. 研究目的

我が国の管理栄養士・栄養士は、医療施設、

老人福祉施設、介護保険施設、児童福祉施設、
小・中学校、行政機関、スポーツ現場、地域

活動の現場、社員食堂、企業、管理栄養士・栄養士養成施設、試験研究機関等と幅広く活躍しており、健康と食を身近で支える存在となっている。

管理栄養士・栄養士が抱える課題は、少子高齢化や生活習慣病の増加等の社会情勢の変化に伴い、複雑化している。このことから高度な専門性と専門的実践力を有する人材の育成が管理栄養士養成施設に強く求められるようになってきている。管理栄養士養成施設は、2020年度時点で152施設であり、諸外国と比較して、人口10万人あたりの管理栄養士養成数が極めて多い。管理栄養士の養成は、「栄養士法施行規則」や「管理栄養士学校指定規則」に定められるが、育成したい人材像や方針の違いから、各施設の養成実態には違いがあるとされている。

本研究は管理栄養士養成大学における教育課程と進路の関連を明らかにすることを目的とした。

B. 研究方法

本研究は、一般社団法人全国栄養士養成施設協会(以下、全国栄養士養成施設協会)が実施している「管理栄養士及び栄養士課程卒業生の就職実態調査」のうち、2017年度から2020年度の計4年度分のデータを二次使用した。

1. 「管理栄養士及び栄養士課程卒業生の就職実態調査」について

管理栄養士及び栄養士課程卒業生の就職実態調査とは、養成課程ごとの管理栄養士・栄養士の卒業生の進路について調査することを目的に、1977年度卒業生から毎年度実施している調査である。

(1)対象施設

施設数は、新設や廃止に伴い、各年度で改正されている。施設は、管理栄養士養成施設を管理栄養士養成大学、管理栄養士養成専門学校2種に、栄養士養成施設を栄養士養成大学、栄養士養成短大、栄養士養成専門学校の3種に分類されている。対象年度ごとの施設数と卒業者数は表1の通りであった。

(2)調査方法

調査は、前年度卒業生の進路について、自記式で実施した。調査時期は、送付時期が4月頃、回収期限が5月末であった。

2. 本研究について

(1)対象施設

本研究は、管理栄養士養成大学卒業生の進路について研究することを目的としたため、管理栄養士養成大学のデータのみを用いた。なお、2017年度～2020年度の4年間で1度でも回答している大学のデータを用いたことから、管理栄養士養成大学137校のデータを活用した。

(2)回収率

調査用紙の回収率は、2017年度は99%、2018年度から2020年度の計3年度分は100%であった。

(3)調査項目

調査項目は、調査年度内で2回改定されている。調査内容は、表2のとおりである。2017年度の改定では、それまで合同にされていた、管理栄養士養成施設における管理栄養士就職と、栄養士就職が区別された。さらに、管理栄養士及び栄養士の就職施設ごとの内訳が、調査項目とされた。2020年度の改定では、管理栄養士及び栄養士就職の内訳の、教育機関の内訳が変更となった。

(4)管理栄養士養成大学入学定員数

管理栄養士養成大学入学定員数は、厚生労働省のホームページから収集した。

(5)管理栄養士国家試験受験者数及び合格者数

管理栄養士国家試験受験者数及び合格者数は、医歯薬研修協会のホームページから収集した。

(6)管理栄養士養成大学のカリキュラム

本研究は、管理栄養士養成大学のカリキュラムとして、管理栄養士国家試験受験資格取得の卒業要件の有無、管理栄養士国家試験受験資格取得のための最低臨地実習単位数をそれぞれ対象施設のホームページから収集した。

(7)調査項目から算出したデータ

入学定員数、卒業生数、管理栄養士国家試験受験者数及び合格者数、それぞれ4年度分の累計を用いて、定員充足率、受験者率、合格率を算出した。

①定員充足率

定員充足率は、 $\{卒業生数(人)/入学定員数(人)\} \times 100$ で算出し、入学定員数のうち、

実際に入学した者の割合を示す。なお、本来、定員充足率は、入学生数を用いるが、入学生数を公開している大学は少ないことから、本研究では卒業生数を用い、定員充足率とした。

②受験者率

受験者率は、{管理栄養士国家試験受験者数(人)/卒業生数(人)}×100で算出し、卒業生のうち、管理栄養士国家試験を受験した者の割合を示す。

③合格率

合格率は、{管理栄養士国家試験合格者(人)/管理栄養士国家試験受験者数(人)}×100で算出し、管理栄養士国家試験受験者のうち、合格した者の割合を示す。

(8)群分け

①管理栄養士国家試験受験資格取得の卒業要件の有無の群分け

管理栄養士国家試験受験資格取得が卒業要件である大学 63 校を「あり群」、ない大学 74 校を「なし群」の 2 群とした。

②臨地実習単位数による群分け

管理栄養士国家試験受験資格取得のための最低臨地実習単位数が 4 単位である大学 132 校(4 単位群)と 5 単位以上である大学 5 校(5 単位以上群)の 2 群とした。5 単位以上の大学は、n 数が少ないことから t 検定、Mann-Whitney の U 検定は行わず、平均値と中央値で入学定員数、定員充足率、受験者率、合格率、就職状況、管理栄養士業務・栄養士業務の職域別就職率について比較を行った。

3.倫理的配慮

本研究は、神奈川県立保健福祉大学研究倫理審査委員会の承認を得て実施した(承認番号保大第 5-21-22)。

4. 統計処理

統計処理は、IBM SPSS Statistics Version25 を用いて、t 検定と Mann-Whitney の U 検定を行い、有意水準を 5% 未満とした。

C. 研究結果

1.対象施設について

(1)入学定員数及び卒業生数

対象施設卒業生数の 4 年度分累計集計結果を表 3 に示した。入学定員数、定員充足率は、平均値、標準偏差、最大値、最小値を算出し、表 4 に示した。

(2)管理栄養士国家試験の受験者数・合格者数・受験者率・合格率

4 年分を累計した管理栄養士国家試験受験者数及び合格者数は、それぞれ 36,884 人、34,516 人であった。対象施設の受験者率・合格率は、平均値、標準偏差、最大値、最小値を算出し、表 5 に示した。

(3)管理栄養士養成大学カリキュラム

管理栄養士国家試験受験資格が卒業要件である大学は 63 校(46%)、ない大学は 74 校(54%)であった。管理栄養士国家試験取得のための最低臨地実習単位数が管理栄養士学校指定規則の 4 単位である大学は 132 校(96%)、5 単位以上の大学は 5 校(4%)であった。なお、5 単位以上の大学は管理栄養士国家試験受験資格が卒業要件である大学であった。5 単位以上の大学 5 校を A~E とし、最低臨地実習単位数の内訳を表 6 に示した。

2. 対象施設卒業生の進路内訳

(1)就職状況の内訳

対象施設の卒業生の進路は、管理栄養士業務、栄養士業務、管理栄養士・免許不使用の業務、進学・未就職者に分類し、集計結果を表 7 に示した。

(2)管理栄養士業務と栄養士業務就職者の職域内訳

管理栄養士業務と栄養士業務就職者は、行政、栄養教諭・学校栄養職員、病院・診療所、企業・健康保険組合、児童福祉施設、社会福祉施設、介護保険施設・老人福祉施設、教育機関、その他の施設に分類し、管理栄養士業務就職者、栄養士業務の就職者の集計結果を表 8 に示した。

(3)管理栄養士業務と栄養士業務就職者の職域別内訳

全管理栄養士養成大学の管理栄養士業務と栄養士業務就職者の職域別内訳を管理栄養士・栄養士業務就職者の総数、管理栄養士業務就職者、栄養士業務就職者に区分し、集計結果を表 9 に示した。

3. 対象施設における各項目の分布

各項目における分布を図 1~図 4 に示した。定員数と定員充足率・受験率・合格率の分布を図 5~7 に示した。

4. 国公立大学と私立大学の比較

国公立大学と私立大学の比較を表10に示した。

5. 対象施設におけるカリキュラムと進路等に関する検討

(1)各項目における入学定員数・定員充足率・受験率・合格率の比較

①管理栄養士国家試験受験資格取得が卒業要件あり群・なし群

2群間の入学定員数・定員充足率・合格率について、平均値、標準偏差、中央値、t検定とMann-WhitneyのU検定の結果を表11に示した。t検定とMann-WhitneyのU検定の結果、あり群はなし群と比べて、入学定員数が有意に少なく、受験者率が有意に高値を示した(入学定員数: $p=0.010$, $p=0.002$ 、受験者率: $p<0.001$, $p<0.001$)。

②管理栄養士国家試験受験資格取得のための最低臨地実習単位数5単位以上群・4単位群

2群間の入学定員数・定員充足率・合格率について、平均値と中央値を表12に示した。5単位以上の大学は4単位の群と比較して入学定員数が少なく、定員充足率、受験者率が高い傾向を示した。

(2)各項目における就職状況の比較

①管理栄養士国家試験受験資格取得が卒業要件あり群・なし群

2群間の就職状況について、それぞれの平均値、標準偏差、中央値、t検定とMann-WhitneyのU検定の結果を表13に示した。t検定とMann-WhitneyのU検定の結果、あり群はなし群と比べて、管理栄養士業務の就職率が有意に高値を示した(管理栄養士業務: $p=0.047$, $p=0.026$)。

②管理栄養士国家試験受験資格取得のための最低臨地実習単位数5単位以上群・4単位群

2群間の就職状況について、それぞれの平均値と中央値を表14に示した。5単位以上群が4単位群と比べて、管理栄養士業務の就職率が高く、栄養士業務、免許不使用の業務、進学・未就職が低い傾向であった。

(3)各項目における管理栄養士職域別就職率の比較

①管理栄養士国家試験受験資格取得が卒業要件あり群・なし群

2群間の管理栄養士職域別就職率につい

て、それぞれの平均値、標準偏差、中央値、t検定とMann-WhitneyのU検定の結果を表15に示した。t検定とMann-WhitneyのU検定の結果、あり群はなし群と比べて、病院・診療所の就職率が有意に高値を示した(病院・診療所: $p=0.037$, $p=0.018$)。

②管理栄養士国家試験受験資格取得のための最低臨地実習単位数5単位以上群・4単位群

2群間の管理栄養士職域別就職率について、それぞれの平均値と中央値を表16に示した。栄養教諭・学校栄養職員、病院・診療所、介護保険施設・老人福祉施設、教育機関その他の業務の就職率が高く、行政、児童福祉施設、社会福祉施設が低い傾向を示した。

D. 考察

1. 対象大学について

カリキュラムについて、管理栄養士養成大学でありながら管理栄養士国家試験受験資格取得が卒業要件ではない大学は74校と、対象大学の半数を超えていた。文部科学省の大学設置基準において、大学の卒業要件は、大学に4年以上在学し、124単位以上を修得することとされている²⁾。管理栄養士養成大学の必修科目は、専門基礎分野において、社会・環境と健康、人体の構造と機能疾患の成り立ち、食べ物と健康、実験・実習、専門分野において、基礎栄養学、応用栄養学、栄養教育論、臨床栄養学、公衆栄養学、給食経営管理論、総合演習、実験・実習(教育内容ごとに1単位以上)、臨地演習の計82単位であり³⁾、大学の卒業要件単位数の66%を占めている。

管理栄養士国家試験受験資格取得のための最低臨地実習単位数は、4単位(180時間)⁴⁾の大学が132校と、5単位以上の大学は数少ないということが分かった。国際栄養士連盟が示す栄養士養成教育(我が国においては、管理栄養士養成教育を意味する)の最低必須条件の一つに「監視下での専門的な実習500時間」がある⁵⁾。先行研究では、アメリカ、カナダ、オーストラリア等ほとんどの国で国際栄養士連盟が提唱する「監視下での専門的な実習500時間」を実施しており(アメリカ:1200時間、カナダ1600時間、オーストラリア:800時間)、我が国は諸外国と比べて非常に少ない臨地・校外実習時間であること報告された¹⁾。5単位以上の大学の臨地実習単位数の内訳として、臨床分野が多いことが明らかとなった。A~Eの大

学におけるカリキュラムの共通点として、①看護学科等の医療専門職の学科がある、②臨床現場に強い管理栄養士を目指し、臨床分野の教育に力を入れている、③入学定員数が少人数である、ことが挙げられた。これらの共通点から、臨床現場に強い管理栄養士を養成することを目標としている大学は、入学定員数が少なく、管理栄養士以外の医療専門職の学科が設置され、臨地実習を5単位以上行うための受け入れ施設の手配が行いやすいことが推測された。

2. 対象施設卒業生の進路内訳

管理栄養士養成大学の就職状況として、卒業生の半数以上が管理栄養士の資格を活かした業務に就職していることが明らかとなった。管理栄養士業務の内訳は、病院・診療所が最も多く、次いで企業・健康保健組合が多かった。臨床現場において、管理栄養士の知識やスキルが求められるようになったことが配置人数の増加につながっていると推測された。

3. 対象施設における各項目の分布と定員数に関する検討

受験者率100%は、卒業生全員が国家試験を受験したことを示すが、卒業生全員が国家試験を受験した大学が14校ある一方で、24.7%にとどまった大学や、50~80%の大学が44校あり、管理栄養士養成大学においても国家試験を受験しない学生が多く存在することが明らかとなった。

定員数が160名以上の大学は首都圏および大都市にあり、定員数が多いことは、定員充足率・受験者率・合格率いずれについても、負の影響を与えなかった。

また国公立大学と私立大学の比較において国公立大学21校のうち、すべてが40人以下の定員数であった。

4. 対象施設における各項目と進路等に関する検討

(1)各項目における入学定員数・定員充足率・受験率・合格率の比較

管理栄養士国家試験受験資格取得が卒業要件である大学とない大学の2群間及び、管理栄養士国家試験受験資格取得のための最低臨地実習単位数が5単位以上と4単位の2群間の比較結果から、管理栄養士国家試験受験資格が卒業要件であり、臨地実習単位数が5単位以上である大学は、学生全員が管理栄養士指定科目を修得しているこ

とから、受験者率が高い傾向であると推測された。

(2)各項目における就職状況の比較

管理栄養士国家試験受験資格取得が卒業要件である大学は、学生の管理栄養士国家試験受験者数が多く、管理栄養士の資格を活かした職種を目指す学生が多いことが推測されることから、管理栄養士業務の就職率が高いと推察した。また、管理栄養士国家試験受験資格取得のための臨地実習単位数が5単位以上の大学は4単位以上の大学と比べて、管理栄養士業務の就職率が10%ほど高い傾向であることから、臨地実習により実践的な経験ができる時間が長いほど、管理栄養士として活躍する学生の育成につながるのではないかと考える。

(3)各項目における管理栄養士・栄養士職域別就職率の比較

管理栄養士としての病院・診療所の就職率が高い大学は、定員充足率が高く、管理栄養士国家試験受験資格が卒業要件である大学、最低臨地実習単位数が5単位以上である大学であることがわかった。5単位以上の大学の臨地実習の内訳は、臨床分野の単位数を多く設定している。このことから臨地実習により実践的な経験が多く積むことができる大学は、傷病者の栄養指導、高度な専門的知識と技術が求められる病院・診療所の就職率が高くなることが示唆された。

企業・健康保健組合の就職率は、最低臨地実習単位数が4単位の大学が高く、5単位以上の大学が低い傾向を示したが、その他の群間で特徴的な差はみられなかった。4単位の大学は、大学カリキュラムで実際に経験できる職域が5単位以上の大学と比べて少ないことが推測される。このことから、進路決定において、最低臨地実習単位数が5単位以上の大学の学生は、関連の臨地実習のさまざまな経験から、管理栄養士業務の行政、学校、病院、介護保険施設・老人福祉施設と特定の職域に就職する傾向があると推測された。

5. 研究の限界

本研究は、各大学のカリキュラムについて管理栄養士国家試験受験資格取得の卒業要件の有無、最低臨地実習単位数で検討をしたが、各大学の独自のカリキュラムは考慮していない。また臨地実習単位数についても管理栄養士国家試験受験資格取得のた

めに必要な臨地実習単位数を調査しており、学生が自主的に選択している臨地実習の単位数は考慮されていない。今後さらなる検討を行う際には、各大学の独自のカリキュラムや選択の臨地実習についても考慮する必要がある。管理栄養士の業務は診療報酬や介護報酬改定によって、より一層専門的知識や技能が必要な業務が増えてきている。今後の管理栄養士養成において、より専門的な実習を受ける機会をどのように設定し得るかについては、次年度も本研究事業において引き続き検討する必要があると考えられた。

E. 結論

本研究は管理栄養士養成大学における教育課程等と進路の関連を検討することを目的とした。

管理栄養士国家試験の受験率が80%以下の大学が44校あり、管理栄養士養成大学においても受験しない学生が多く存在した。国家試験受験資格取得が卒業要件である大学は、卒業要件でない大学と比較し、管理栄養士業務の就職率、管理栄養士としての病院・診療所の就職率が高かった。管理栄養士国家試験取得のための最低臨地実習単位数が5単位以上の大学は5校あり、臨床栄養学関連の実習単位数が多く、管理栄養士としての病院・診療所の就職率、管理栄養士業務の就職率が高く、栄養士業務、免許不使用の業務、進学・未就職が低い傾向であった。

以上より、管理栄養士業務の就職率が高い大学は、管理栄養士国家試験受験資格取得が卒業要件であり、最低臨地実習単位数が5単位以上の大学であることが示唆された。

F. 謝辞

本研究を行うにあたり、データを提供いただきました、一般社団法人全国栄養士養成施設協会に感謝いたします。

G. 研究発表

1. 論文発表
なし

2. 学会発表
なし

H. 知的財産権の出願・登録状況

なし

引用文献

- 1) 鈴木道子、片山一男、諸外国の栄養専門職養成システムと日本の位置づけ、栄養学雑誌、Vol.70 No.4 262-273、2012
- 2) 文部科学省：学校教育法 大学設置基準法 第26条,第32条
- 3) 栄養士法
https://www.mhlw.go.jp/web/t_doc?dataId=78317000&dataType=0&pageNo=1(2021年12月10日閲覧)

表 1 管理栄養士・栄養士養成課程の施設数及び卒業生数

年度		管理栄養士・栄養士養成施設					合計
		管理栄養士養成大学・専門学校		栄養士養成学校			
		大学	専門学校	大学	短大	専門学校	
2017年	養成施設数	126	7	17	95	31	276
	卒業生数	9865	377	958	5553	2096	18849
2018年	養成施設数	130	7	18	95	30	280
	卒業生数	10348	352	1033	5254	1916	18903
2019年	養成施設数	130	7	16	92	30	275
	卒業生数	10073	315	953	4821	1790	17952
2020年	養成施設数	135	7	16	92	31	281
	卒業生数	10074	372	990	4507	1895	17838

表 2-1 2017 年度、2018 年度 管理栄養士及び栄養士施設卒業生の就職実態調査

施設名		
基本情報	卒業生数	男子
		女子
管理栄養士業務	行政	都道府県、政令都市、特別区
		市町村
	栄養教諭及び学校栄養職員	学校栄養職員
		栄養教諭
		教育委員会、共同調理場
		委託給食会社、人材派遣会社
	病院	病院
		診療所
		委託給食会社、人材派遣会社
	工場・事業所	事業所給食会社
		事業所健保組合
	児童福祉施設	児童福祉施設
		委託給食会社、人材派遣会社
	社会福祉施設	社会福祉施設
		委託給食会社、人材派遣会社
	介護保険施設及び老人福祉施設	介護保険施設及び老人福祉施設
		委託給食会社、人材派遣会社
	教育機関	管理栄養士・栄養士
		調理師
その他教育施設		
その他の施設	研究・開発	
	食品製造	
	薬局	
	スポーツクラブ	
	その他の施設	
進路内訳	行政	都道府県、政令都市、特別区
		市町村
	栄養教諭及び学校栄養職員	学校栄養職員
		栄養教諭
		教育委員会、共同調理場
		委託給食会社、人材派遣会社
	病院	病院
		診療所
		委託給食会社、人材派遣会社
	工場・事業所	事業所給食会社
		事業所健保組合
	児童福祉施設	児童福祉施設
		委託給食会社、人材派遣会社
	社会福祉施設	社会福祉施設
		委託給食会社、人材派遣会社
	介護保険施設及び老人福祉施設	介護保険施設及び老人福祉施設
		委託給食会社、人材派遣会社
	教育機関	管理栄養士・栄養士
		調理師
その他教育施設		
その他の施設	研究・開発	
	食品製造	
	薬局	
	スポーツクラブ	
	その他の施設	
管理栄養士・栄養士以外の業務内訳	管理栄養士・栄養士に類する業務	
	その他の業務	
	不明	
	管理栄養士	
管理栄養士・栄養士以外の就職者の希望の有無	管理栄養士・栄養士業務を希望せず	
	管理栄養士・栄養士業務を希望した	
未就職	進学	上級学部・院
	自家営業	その他教育施設
	その他	

表 2-2 2019 年度、2020 年度 管理栄養士及び栄養士施設卒業生の就職実態調査

施設名			
基本情報	卒業生数	男子	
		女子	
管理栄養士業務	行政	都道府県、政令都市、特別区 市町村	
	栄養教諭及び学校栄養職員	学校栄養職員	
		栄養教諭	
		教育委員会、共同調理場	
		委託給食会社、人材派遣会社	
	病院	病院	
		診療所	
		委託給食会社、人材派遣会社	
	企業・事業所	企業及びその給食会社	給食会社
			研究・開発
		食品製造	
		薬局	
		スポーツクラブ	
		事業所健保組合	
		委託給食会社、人材派遣会社	
児童福祉施設		児童福祉施設	
		委託給食会社、人材派遣会社	
社会福祉施設		社会福祉施設	
	委託給食会社、人材派遣会社		
介護保険施設及び 老人福祉施設	介護保険施設及び老人福祉施設		
	委託給食会社、人材派遣会社		
教育機関	管理栄養士・栄養士		
	調理師		
	その他教育施設		
その他の施設			
進路内訳	行政	都道府県、政令都市、特別区 市町村	
	栄養教諭及び学校栄養職員	学校栄養職員	
		栄養教諭	
		教育委員会、共同調理場	
		委託給食会社、人材派遣会社	
	病院	病院	
		診療所	
		委託給食会社、人材派遣会社	
	栄養士業務	企業及びその給食会社	給食会社
			研究・開発
		食品製造	
		薬局	
		スポーツクラブ	
		事業所健保組合	
		委託給食会社、人材派遣会社	
児童福祉施設		児童福祉施設	
		委託給食会社、人材派遣会社	
社会福祉施設		社会福祉施設	
	委託給食会社、人材派遣会社		
介護保険施設及び 老人福祉施設	介護保険施設及び老人福祉施設		
	委託給食会社、人材派遣会社		
教育機関	管理栄養士・栄養士		
	調理師		
	その他教育施設		
その他の施設			
管理栄養士・栄養士以外の業務	管理栄養士・栄養士に類する業務		
	管理栄養士・栄養士以外の業務内訳	その他の業務	
		不明	
		管理栄養士	
就職者の希望の有無	管理栄養士・栄養士業務を希望せず		
	管理栄養士・栄養士業務を希望した		
	不明		
未就職	進学	上級学部・院	
		その他教育施設	
	自家営業		
	その他		

表 3 対象施設卒業生数

	卒業生					
	卒業生数(人)	性別			男女比率(%)	
		男子学生(人)	女子学生(人)	男女比率(%)		
				男子学生	女子学生	
累計	40444	2,901	37,543	7.2	92.8	

表 4 入学定員数・定員充足率(n=137)

	入学定員数(人)	定員充足率(%)
平均値	79.1	98.8
標準偏差	36.1	15.4
最大値	200	136.3
最小値	25	33.1

表 5 受験者率・合格率(n=137)

	受験者率(%)	合格率(%)
平均値	90.4	92.5
標準偏差	11.4	8.4
最大値	100	100
最小値	24.7	46.9

表 6 最低臨地実習単位数 5 単位以上の大学の臨地実習分野内訳

対象施設大学	最低臨地実習 単位数(単位)	分野(単位)		
		臨床	公衆	給食
A	5	2	1	2
B	7	5	1	1
C	8	6	1	1
D	8	6	1	1
E	14	-	-	-

表 7 対象施設卒業生における就職状況の内訳

	管理栄養士業務	栄養士業務	免許不使用 の業務	進学・未就職
	人数(人)	人数(人)	人数(人)	人数(人)
累計 n=(40444)	19819	5051	12763	2811

表 8 管理栄養士業務と栄養士業務就職者の職域内訳

	行政	栄養教諭・ 学校栄養職員	病院・診療所	企業・ 健康保健組合	児童福祉施設	社会福祉施設	介護保険施設・ 老人福祉施設	教育機関	その他
	人数(人)	人数(人)	人数(人)	人数(人)	人数(人)	人数(人)	人数(人)	人数(人)	人数(人)
管理栄養士業務 (n=19819)	539	849	7069	4046	878	698	1951	203	3586
栄養士業務 (n=5051)	220	324	769	889	1405	209	435	24	776

表9 管理栄養士業務と栄養士業務の職域別内訳

	管理栄養士・栄養士業務 総数		管理栄養士業務		栄養士業務	
	人数(人)	人数(人)	構成比率(%)	人数(人)	構成比率(%)	
【行政】						
都道府県	295	191	64.7	104	35.3	
市町村	464	348	75.0	116	25.0	
計	759	539	71.0	220	29.0	
【栄養教諭・学校栄養職員】						
学校栄養職員	354	185	52.3	169	47.7	
栄養教諭	483	450	93.2	33	6.8	
教育委員会	165	97	58.8	68	41.2	
学校人材派遣	171	117	68.4	54	31.6	
計	1173	849	72.4	324	27.6	
【病院・診療所】						
病院	4674	4405	94.2	269	5.8	
診療所	613	577	94.1	36	5.9	
病院人材派遣	2551	2087	81.8	464	18.2	
計	7838	7069	90.2	769	9.8	
【企業・健康保健組合】						
給食施設	3722	3092	83.1	630	16.9	
健保組合	99	84	84.8	15	15.2	
人材派遣	1114	870	78.1	244	21.9	
計	4935	4046	82.0	889	18.0	
【児童福祉施設】						
児童福祉施設	2138	800	37.4	1338	62.6	
児童福祉人材派遣	145	78	0.5	67	46.2	
計	2283	878	0.4	1405	61.5	
【社会福祉施設】						
社会福祉施設	684	522	76.3	162	23.7	
社会福祉人材派遣	223	176	0.8	47	21.1	
計	907	698	0.8	209	23.0	
【介護保険施設・老人福祉施設】						
介護保健施設	1573	1325	84.2	248	15.8	
介護保健人材派遣	813	626	0.8	187	23.0	
計	2386	1951	0.8	435	18.2	
【教育機関】						
管理栄養士・栄養士養成施設	156	145	92.9	11	7.1	
調理師養成施設	6	4	0.7	2	33.3	
その他教育	60	51	0.9	9	15.0	
教育機関人材派遣	5	3	0.6	2	40.0	
計	227	203	0.9	24	10.6	
【その他の施設】						
計	4372	3621	82.8	751	17.2	

表 10 国公立大学と私立大学における入学定員数・定員充足率・受験者率・合格率の比較結果

	項目	国公立大学 (n=21)	私立大学 (n=116)	p値
入学定員数(人)	平均値±SD	35.0 ± 5.6	87.1 ± 34.2	<0.001
	中央値	36.0	80.0	<0.001
定員卒業生率(%)	平均値±SD	104.2 ± 5.6	95.4 ± 16.2	<0.001
	中央値	102.9	99.1	0.007
受験者率(%)	平均値±SD	98.7 ± 1.2	88.9 ± 11.8	<0.001
	中央値	98.9	92.5	<0.001
合格率(%)	平均値±SD	97.5 ± 1.8	91.5 ± 8.8	<0.001
	中央値	97.5	94.2	<0.001

表 11 管理栄養士国家試験受験資格取得の卒業要件あり群となし群における定員充足率・受験者率・合格率の比較結果

	項目	あり群 (n=63)	なし群 (n=74)	p値
入学定員数(人)	平均値±SD	70.4 ± 37.4	86.5 ± 34.7	0.010
	中央値	70	80	0.002
定員充足率(%)	平均値±SD	98.3 ± 14.1	95.4 ± 16.4	0.277
	中央値	99.7	102.0	0.262
受験者率(%)	平均値±SD	94.0 ± 8.3	87.4 ± 12.8	<0.001
	中央値	97.4	91.6	<0.001
合格率(%)	平均値±SD	93.3 ± 8.1	91.7 ± 8.7	0.653
	中央値	96.2	94.4	0.662

表 12 臨地実習 5 単位以上群と 4 単位群における定員充足率・受験者率・合格率の比較結果

	項目	5単位以上群 (n=5)	4単位群 (n=132)
入学定員数(人)	平均値±SD	39.6 ± 7.8	80.6 ± 36.6
	中央値	40	80
定員充足率(%)	平均値±SD	103.2 ± 7.3	96.5 ± 15.6
	中央値	107.5	100.2
受験者率(%)	平均値±SD	99.7 ± 0.4	90.1 ± 11.5
	中央値	100.0	94.2
合格率(%)	平均値±SD	93.6 ± 9.8	92.4 ± 8.4
	中央値	97.9	94.8

表 13 管理栄養士国家試験受験資格取得の卒業要件あり群となし群における就職状況の比較結果

	項目	あり群 (n=63)	なし群 (n=74)	p値
管理栄養士業務	平均値±SD (%)	52.7 ± 17.4	47.1 ± 15.2	0.047
	中央値 (%)	53.8	46.7	0.026
栄養士業務	平均値±SD (%)	10.9 ± 7.8	13.6 ± 9.7	0.072
	中央値 (%)	10.5	12.6	0.087
免許不使用の 業務	平均値±SD (%)	28.0 ± 13.3	31.4 ± 13.2	0.140
	中央値 (%)	27.3	31.9	0.161
進学・未就職	平均値±SD (%)	8.5 ± 8.4	7.9 ± 6.8	0.684
	中央値 (%)	6.2	5.9	0.804

表 14 臨地実習 5 単位以上群と 4 単位群における就職状況の比較結果

	項目	5単位以上群 (n=5)	4単位群 (n=132)
管理栄養士業務	平均値±SD (%)	61.0 ± 23.0	49.2 ± 16.1
	中央値 (%)	59.9	50.1
栄養士業務	平均値±SD (%)	8.2 ± 4.2	12.5 ± 9.0
	中央値 (%)	8.0	11.9
免許不使用の 業務	平均値±SD (%)	22.8 ± 16.0	30.1 ± 13.2
	中央値 (%)	20.9	30.7
進学・未就職	平均値±SD (%)	7.9 ± 8.9	8.2 ± 7.5
	中央値 (%)	2.6	6.1

表 15 管理栄養士国家試験受験資格取得の卒業要件あり群となし群における管理栄養士職域別就職率の比較結果

	項目	あり群 (n=63)	なし群 (n=74)	p値
行政	平均値±SD (%)	1.9 ± 2.2	1.5 ± 1.8	0.218
	中央値 (%)	1.1	0.8	0.355
栄養教諭 学校栄養職員	平均値±SD (%)	2.4 ± 2.6	1.9 ± 1.6	0.142
	中央値 (%)	1.7	1.5	0.777
病院・診療所	平均値±SD (%)	18.7 ± 10.3	14.9 ± 10.7	0.037
	中央値 (%)	17.3	14.3	0.018
企業・ 健康保健組合	平均値±SD (%)	9.8 ± 7.5	8.7 ± 8.0	0.431
	中央値 (%)	7.5	6.5	0.197
児童福祉施設	平均値±SD (%)	2.0 ± 1.8	2.0 ± 1.8	0.948
	中央値 (%)	1.9	1.6	0.846
社会福祉施設	平均値±SD (%)	1.8 ± 2.2	1.4 ± 2.3	0.297
	中央値 (%)	0.9	0.7	0.112
介護保険施設・ 老人福祉施設	平均値±SD (%)	4.7 ± 3.6	4.8 ± 4.2	0.810
	中央値 (%)	3.7	3.7	0.851
教育機関	平均値±SD (%)	0.6 ± 0.9	0.4 ± 0.7	0.484
	中央値 (%)	0.0	0.0	0.144
その他	平均値±SD (%)	9.4 ± 7.0	8.1 ± 7.7	0.321
	中央値 (%)	7.9	5.3	0.135

表 16 臨地実習 5 単位以上群と 4 単位群における管理栄養士業職域別就職率の比較結果

	項目	5単位以上群 (n=5)	4単位群 (n=132)
行政	平均値±SD (%)	1.8 ± 2.1	1.6 ± 2.0
	中央値 (%)	1.4	1.0
栄養教諭 学校栄養職員	平均値±SD (%)	3.4 ± 4.1	2.1 ± 2.1
	中央値 (%)	2.4	1.6
病院・診療所	平均値±SD (%)	24.5 ± 6.9	16.4 ± 10.7
	中央値 (%)	25.6	15.6
企業・ 健康保健組合	平均値±SD (%)	6.5 ± 6.2	9.3 ± 7.8
	中央値 (%)	4.3	6.8
児童福祉施設	平均値±SD (%)	1.5 ± 1.6	2.0 ± 1.8
	中央値 (%)	1.1	1.8
社会福祉施設	平均値±SD (%)	1.5 ± 2.2	1.6 ± 2.3
	中央値 (%)	0.6	0.9
介護保険施設・ 老人福祉施設	平均値±SD (%)	9.9 ± 5.5	4.6 ± 3.8
	中央値 (%)	11.7	3.7
教育機関	平均値±SD (%)	0.6 ± 0.8	0.4 ± 0.8
	中央値 (%)	0.0	0.0
その他	平均値±SD (%)	10.1 ± 8.7	8.7 ± 7.4
	中央値 (%)	11.2	6.8

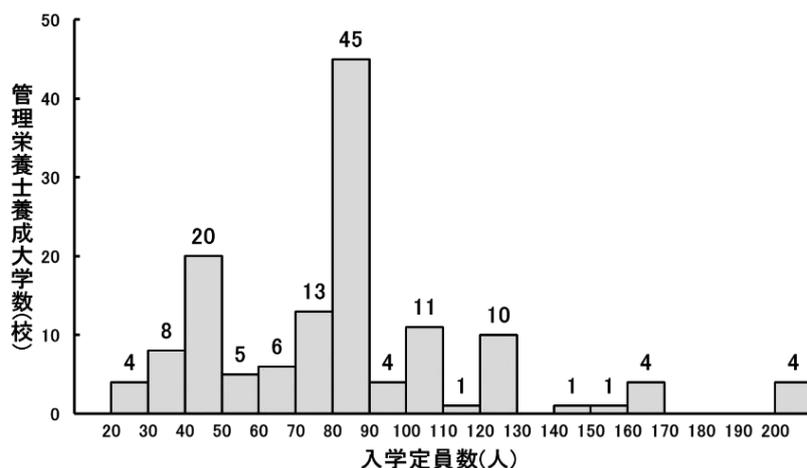


図 1 入学定員数の分布図

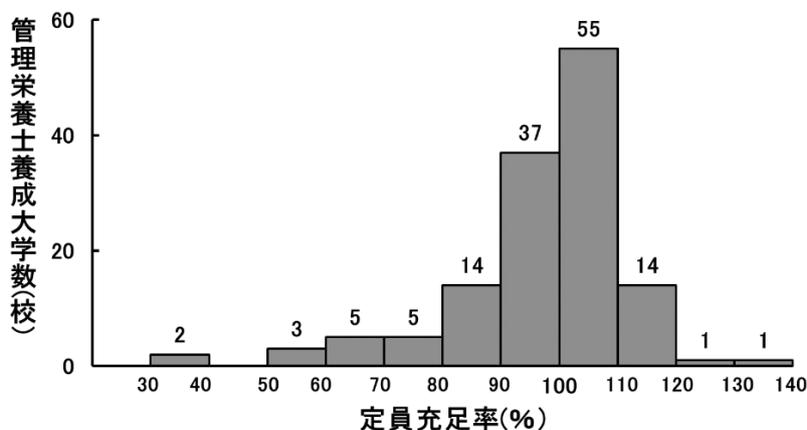


図 2 定員充足率分布図

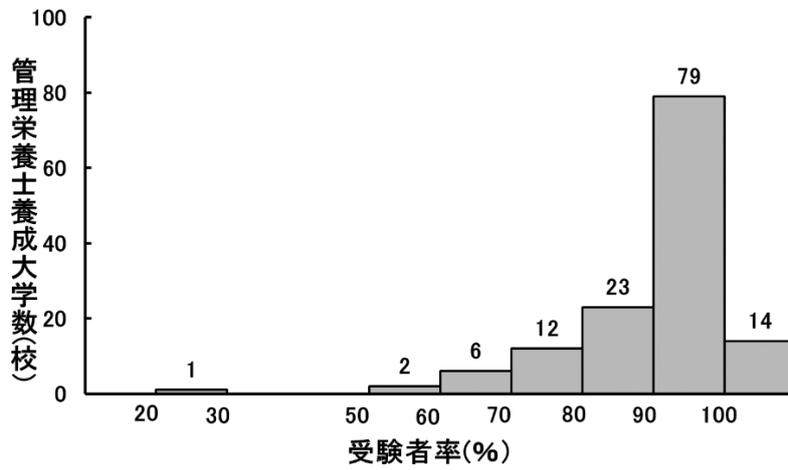


図3 受験者率の分布図

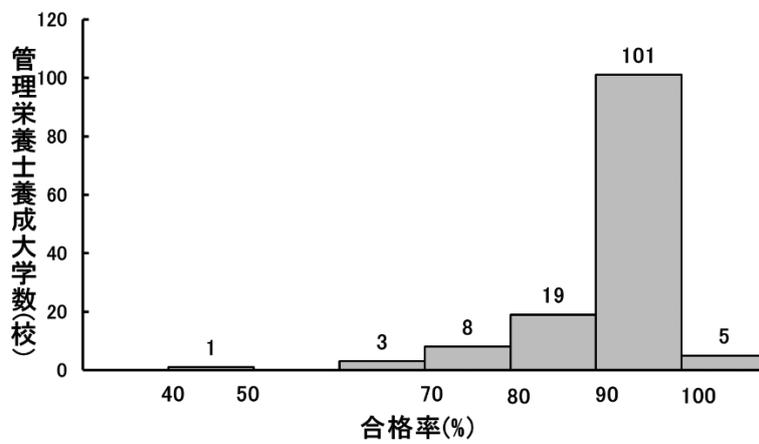


図4 合格率の分布図

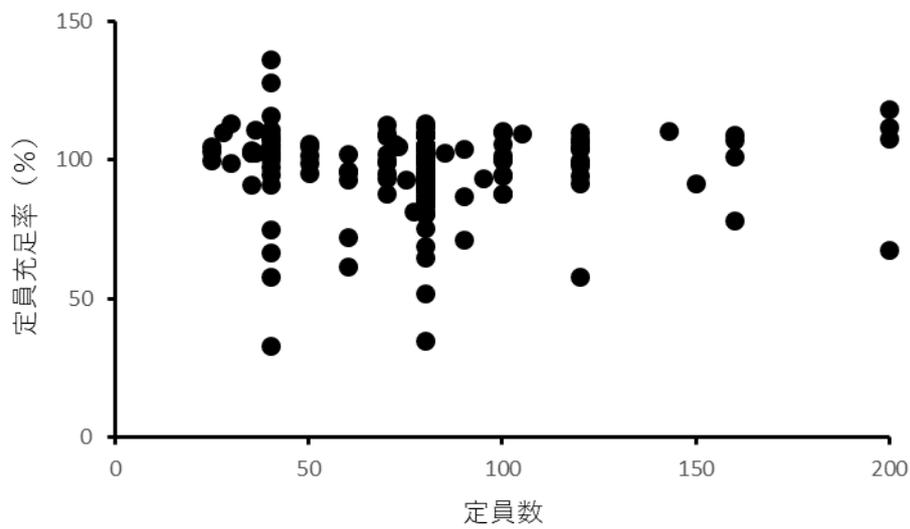


図5 定員数と定員充足率の分布図

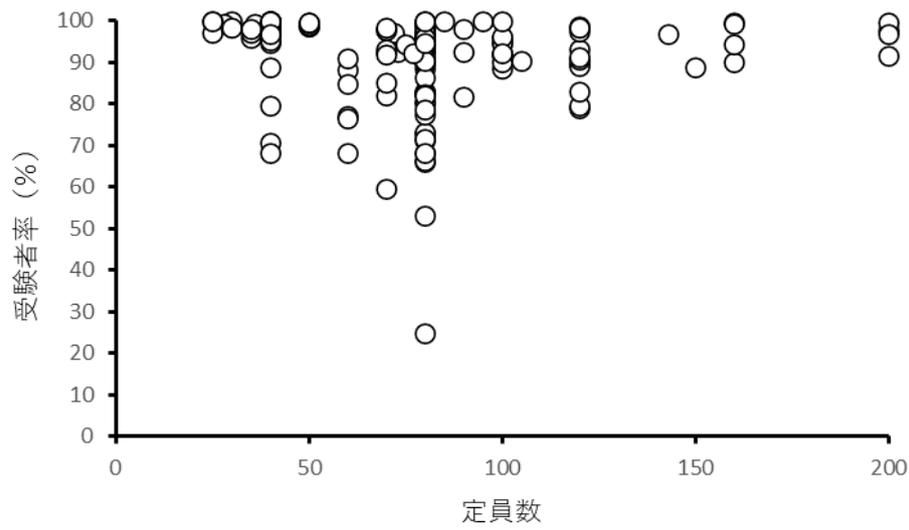


図6 定員数と受験者率の分布図

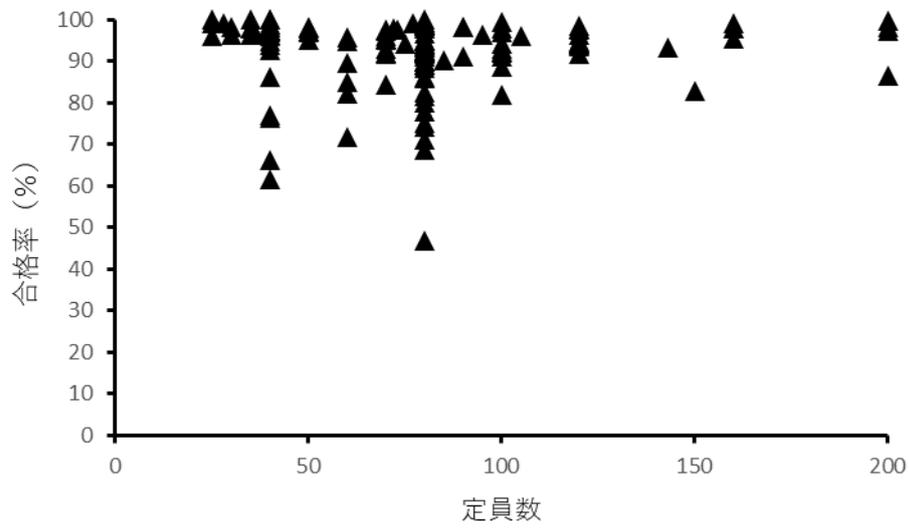


図7 定員数と合格率の分布図